

# 教科化を見据えた小学校外国語活動における CAN-DO リストの作成・活用と、そのリストを生かした小学校外国語活動の授業改善の工夫

三重県教育委員会事務局  
研修推進課 教科等研修班  
研修員 坂倉 豪

## I 研究の目的

小学校において児童の関心・意欲を高めたり、児童に聞く力・話す力をつけたりするために、「英語を用いて～することができる」という CAN-DO リスト形式の学習到達目標を作成し、その活用の有効性について検証する。

## II 研究の内容

### 1 CAN-DO リストの作成

CAN-DO リストとは、「英語を用いて～することができる」という形式の学習到達目標である。CAN-DO リストでは、4 技能について生徒に求められる英語力を段階的に設定する。今回作成する小学校版 CAN-DO リストは、「聞くこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」の2 技能3 領域で作成する。

<手順>

- (1) 卒業時の学習到達目標の設定
- (2) 学年ごとの学習到達目標の設定
- (3) 前期・後期の学習到達目標の設定
- (4) 能力記述文の作成

<留意点>

- (1) 具体的な文法は表記しない
- (2) 言語を介した技能を扱う
- (3) 関心・意欲・態度を CAN-DO リストに含めない
- (4) 文部科学省の外国語活動教材“Hi, friends!”の対応する単元を併記する

### 2 単元計画及び指導案の作成

- (1) 単元計画に対応する CAN-DO リストの能力記述文を記載する
- (2) 単元計画及び授業を CAN-DO リストを活用して組み立てる
- (3) 振り返りシート（CAN-DO チェックリスト）で授業の振り返りを行う
- (4) 検定シートを用いたパフォーマンス評価を行う

### 3 協力小学校での授業実践 <時期：10月5日（水）～11月16日（水） 9時間分>

	6年（32名）	5年（40名）
単元	Lesson5 「友達を旅行にさそおう」 修学旅行の取組「外国の方にインタビュー ～三重の良さを紹介しよう～」	Lesson6 「アルファベットクイズを作ろう」 Lesson7 「クイズ大会をしよう」

(様式4)

#### 4 実践協力校での実践 <時期：10月～11月 9時間分（A小は5時間分）>

	6年	5年
単元 (A小 159名)	Lesson6「一日の生活を紹介しよう」	
単元 (B小 31名)		Lesson6「アルファベットをさがそう」 Lesson7「クイズ大会をしよう」
単元 (C小 84名)		Lesson6「アルファベットをさがそう」 Lesson7「クイズ大会をしよう」

#### 5 考察

- (1) **CAN-DO リストと CAN-DO リストに基づいためあてを提示すること**  
➡ 単元や授業のゴールが明確になり、教員も児童も見通しを持つことができた。
- (2) **検定シートを用いること**  
➡ 達成すべき課題が分かりやすくなり、児童が意欲的に取り組むことができた。
- (3) **教員間で目標を共有すること**  
➡ 教員間で目標を共有でき、学校内で指導についての共通理解を図ることができた。

### Ⅲ 成果と課題

#### 1 成果

- (1) **小学校版 CAN-DO リストの作成**  
「聞くこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」の2技能3領域で作成した。
- (2) **CAN-DO リストを活用した単元計画や指導案を作成**  
授業では、CAN-DO リストに基づいためあてに向かって授業を組み立てることができた。
- (3) **授業で CAN-DO リストと CAN-DO リストに基づいためあてを提示**  
授業で CAN-DO リストに基づいためあてを提示して、授業のゴールを明確にすることができた。  
振り返りシートでめあてを達成できたかを自己評価することができた。
- (4) **検定シートの作成**  
CAN-DO リストを活用したパフォーマンス評価を考えることができた。児童の自己肯定感も高めることができた。

これらの CAN-DO リストの取組によって、児童の関心・意欲を高め、聞く力・話す力を高めることができた。

#### 2 課題

- (1) **学習到達目標を細かく設定しすぎたため、活用しにくい**  
もっと中・長期的な目標として作成する必要がある。➡ 小学校版 CAN-DO リストを修正
- (2) **「読むこと」「書くこと」の CAN-DO リストの作成について検討する**
- (3) **発音や文法等の「正確さ」をどのように評価していくか**